

## 令和5年度 事業報告

### I. 概要

北海道技術者育成プラットフォーム（以下、「本会」という。）の目的「産学官が連携して、北海道総合開発計画の推進並びに強靱で持続可能な国土の形成に必要な技術者育成を行うことを目的とする。」を達成するため、令和5年度において次に該当する事業（活動）を行った。

1. 技術者育成に関する教材の企画及び開発
2. 技術者育成に関する研修及び講習等の実施
3. 会員が実施する研修及び講習の支援並びに情報の共有化
4. その他本会の目的を達成するために必要な事項

### II. 「1. 技術者育成に関する教材の企画及び開発」に係る事業（活動）

#### 1. 学習教材ライブラリーの作成

若手土木技術者の育成を支援するため、本会のホームページにおいて会員団体が研修（河川部門、道路部門、港湾部門、共通部門）で使用した研修テキストやマニュアルなどを掲載し、インターネットを通じて、学習教材等の自己学習の機会を提供した。

《学習教材ライブラリーの閲覧数：約2,885件（令和6年3月末時点）》

### III. 「2. 技術者育成に関する研修及び講習等の実施」に係る事業（活動）

#### 1. 研修会の開催

実務を経験して間もない技術者を対象に、インフラ施設の業務に関連する分野の基礎知識等の再履修の機会を提供し、若手土木技術者のスキルアップを図ることを目的として令和4年度より開催している「研修会」について、過年度同様に「道路基礎技術」をテーマとした研修カリキュラムにより開催した。

開催日：令和5年8月8日～令和5年8月9日

受講者：100名

#### 2. 講習会の開催

インフラ施設の業務に関連する分野の最近の話題や先進的な取り組みの情報を提供する等、土木技術者のスキルアップを図ることを目的とした講習会をオンライン形式で3回開催した。

第1回：令和5年10月11日 受講者79名

講義①「複雑な海底地形に位置する消波護岸の越波流量  
及び作用波力に関する研究」

講義②「漁港水域を有効活用した水産生物の増養殖について」

講義③「道の駅の計画・運営手法と地域振興効果について」

講義④「土木インフラと地域の魅力、景観と環境、色彩と現場条件」

第2回：令和5年12月5日 受講者 82名

講義①「国土交通省北海道開発局における

インフラ分野のDX、i-Constructionの推進」

講義②「構造力学に学ぶ鋼橋（桁橋とトラス橋）点検の留意点」

第3回：令和6年2月2日 受講者 80名

講義①「スマート農業と通信インフラに関する基礎知識」

講義②「河川の維持管理や事業等に関する基礎知識」

### 3. 現地講習会への参加

社会資本の維持管理や点検技術力の向上を図るため、「北海道道路メンテナンス会議」が主催し、座学及び現地学習で構成する「道路メンテナンス講習会」へ当会会員の参加枠を提供いただき、道内各地で点検・診断や新技術の活用等を学習した。

第1回：令和5年10月12日 開催地：安平町 参加者：48名（うちPF会員5名）

第2回：令和5年10月16日 開催地：旭川市 参加者：82名（うちPF会員8名）

第3回：令和5年11月9日 開催地：斜里町 参加者：40名（うちPF会員6名）

## IV. 「3. 会員が実施する研修及び講習の支援並びに情報の共有化」に係る事業(活動)

### 1. ホームページの運営

当会開設時より設置しているホームページにおいて、技術者育成に関する情報や会員向け学習教材の提供を行った。

《ホームページのページ閲覧数：約40,417件（令和6年3月末時点）》

### 2. 講師派遣リストの提供

会員が実施する研修及び講習や外部機関が実施する研修等へ派遣可能な講師リストを本会のホームページに掲載した。

《掲載派遣講師：令和6年3月末時点》

- ・個人：12名（分野：構造、地盤、防災等）
- ・団体：1団体（分野：河川、道路、港湾等）

## V. 「4. その他本会の目的を達成するために必要な事項」に係る事業(活動)

### 1. 会員の募集について

本会ホームページや各種開催イベントにおいて、本会の設立趣旨、目的を案内し、賛同いただける個人・団体の会員募集を行った。

《会員数：令和6年3月末時点》

- ・団体会員数：54団体
- ・個人会員数：94名